



支え合い 高め合い 挑戦する あいがいっぱい山の下

☆認め合い・支え合い
☆優しく包み・見守り・励ますような
☆かかわり合い・支え合い・挑戦する

仲間の友情・思いやりがいっぱい
家庭や地域の愛がいっぱい
ともに成長し合う子どもがいっぱい

<いじめをつくらない組織と体制>

いじめ防止サポート・チーム

◇校長 ○教頭 ○生活指導主任 ○教務主任 ○担任 ○生活指導部 ○養護教諭

- ・いじめ防止にかかわる基本方針及び基本施策の立案
- ・いじめの早期対応・解決のための情報交換及び支援体制の確立
- ・いじめ防止・対応のための外部機関との調整や連絡

校内いじめ対応ミーティング

○管理職 ○担任等 ※即時対応の内容の決定と実行

- ・いじめ事案への即時対応
- ・自傷行為や「死にたい」などのつぶやきへの即時対応

【重大事案が発生したとき、認知されたとき】

山の下小いじめ対策委員会

○校内サポートチーム ○愛育会（会長・副会長）
○民生委員・児童委員 ○保護司 ○その他、必要と認められる人

連携

- ・いじめの解決に向けた具体的な取組の検討
- ・いじめの解決に向けた調査や聞き取りなどの実施と対応の協議
- ・生活指導ファイルへの記録・保管
- ・「解消」の適切な判断
- ・保護者や地域との連絡・協力体制の確立
- ・市教委との連絡調整と指導事項の確認

<いじめをつくらない教職員集団>

◇子どもに寄り添い、一人一人の子どもの姿や実態を見取り、適切な支援や働きかけを推進します。（日常の観察の重視・学校生活アンケート・ふれあいトークの実施）

◇いじめを許さない・見逃さない姿勢をもち、いじめの未然防止・早期発見、対応に努めます。

◇教職員の人権意識向上のための研修（年2回）

<いじめを防止する学校としての取組>

<1>早期発見・早期対応のために…

- 早期発見のための実態把握
 - ・学校生活アンケート（年3回）の即日チェック、学年部内チェック
 - ・ふれあいトーク（教育相談）の実施（年2回）
 - ・アンケートを基にした小中の情報交換
- 情報交換の場の設定
 - ・職員集会での児童の情報共有（週1回）
 - ・生活指導ファイルを活用した記録の保管

<2>友達との豊かな人間関係を築くために…

- 豊かな人間関係を築く活動
 - ・キラリカードを用いた自他のよさを認め合う活動
 - ・「思いやり」「相互理解」「公平・公正」を重点にした道徳授業の実施
 - ・いじめを許さない、見逃さない姿勢を育てるいじめ授業の実施（1、3、5年）
 - ・あいさつ運動の継続による「心が通うあいさつ」をする学校・学級づくりの推進
- 保護者への啓発活動
 - ・学校・学年だより、生活指導だよりによるお知らせや啓発活動
 - ・保護者や地域との頻繁な情報交換の場の設定（年2回の個別懇談、電話・連絡帳等での連絡）
- 山の下中学校区小中一貫の取組
 - ・小中交流会の実施

